

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成22年度 (2010年度)	授業科目	化学 2		
科目基礎情報							
科目番号	0018	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2				
開設学科	一般教科 (平成25年度以前入学生)	対象学年	2				
開設期	通年	週時間数	2				
教科書/教材	高等学校 化学 I 基礎 (第1学習社) / これでわかる化学 (三共出版)						
担当教員	一森 勇人						
到達目標							
1. 酸化還元反応の量的な計算ができる。 2. 無機物質の特徴を理解できる。 3. 有機化合物の特徴を理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	酸化還元反応を理解して量的な計算ができる。	酸化還元反応の量的な計算ができる。	酸化還元反応の量的な計算ができない。				
評価項目2	無機物質の特徴を理解でき、説明できる。	無機物質の特徴を理解できる。	無機物質の特徴を理解できない。				
評価項目3	有機化合物の特徴を理解でき、説明できる。	有機化合物の特徴を理解できる。	有機化合物の特徴を理解できない。				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本講義は1年の学習をふまえて、さらに深い化学的知識を身につけることを目的としている。						
授業の進め方・方法	先ず、酸化還元反応について学んだ後、無機物質・有機物質の諸性質について学習していく。						
注意点							
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	酸化還元反応	酸化と還元			
		2週	酸化還元反応	酸化と還元			
		3週	酸化還元反応	酸化剤と還元剤の反応			
		4週	酸化還元反応	酸化剤と還元剤の反応			
		5週	酸化還元反応	金属のイオン化傾向			
		6週	酸化還元反応	金属のイオン化傾向			
		7週	酸化還元反応	金属のイオン化傾向			
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	酸化還元反応	酸化還元反応の利用			
		10週	酸化還元反応	酸化還元反応の利用			
		11週	酸化還元反応	電池			
		12週	酸化還元反応	電池			
		13週	酸化還元反応	電気分解			
		14週	酸化還元反応	電気分解			
		15週	酸化還元反応	電気分解			
		16週					
後期	3rdQ	1週	無機物質	非金属元素の単体と化合物			
		2週	無機物質	非金属元素の単体と化合物			
		3週	無機物質	典型金属元素の単体と化合物			
		4週	無機物質	典型金属元素の単体と化合物			
		5週	無機物質	遷移元素の単体と化合物			
		6週	無機物質	遷移元素の単体と化合物			
		7週	無機物質	遷移元素の単体と化合物			
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	有機物質	有機化合物の特徴と分類			
		10週	有機物質	脂肪族炭化水素			
		11週	有機物質	脂肪族炭化水素			
		12週	有機物質	酸素を含む脂肪族化合物			
		13週	有機物質	酸素を含む脂肪族化合物			
		14週	有機物質	芳香族化合物			
		15週	有機物質	芳香族化合物			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	10	10	100

基礎的能力	60	0	0	0	10	10	80
專門的能力	10	0	0	0	0	0	10
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10